

こどもしょくいく しんぶん



新・第8号

令和元年7月 食と花の推進課 発行

第6号・7号では、東区の馬鈴薯について紹介したよ。第8号では、新潟市北区の『トマト』を紹介するよ。みんなは、“桃太郎トマト”って聞いたことあるかな？

北区の『トマト』を発見！



みんなは北区でどんな農産物が作られているか知っているかな？ トマトやスイカ、にんじん、なす、ねぎ、日本なし、さつまいもなど、たくさんの農産物が作られているよ！

北区の中でも“豊栄地区”と“濁川地区”で主に作られているのが、『トマト』だ。豊栄地区で栽培されているトマトは、主に“桃太郎”という品種だよ。



豊栄地区のトマト農家 野崎さん



野崎さん&一緒にトマトを作っている方達

野崎さんは農業用ハウス3棟でトマトを作っているよ！



農業用ハウス

食べる人が喜んでくれる、安心安全なおいしいトマトを作るために、土作りなどを工夫して、仲間と一緒に楽しく育てているよ。

- トマトのおいしい見分け方を伝授！
- ①赤い
 - ②つやがある
 - ③おしりに筋がある

これらにあてはまるトマトはおいしい証。

お店で選ぶときの参考にしてみてね。



白色～金色の筋があるよ！

トマトはどうやって育てるの？



トマトの苗

トマト作りは、冬の間に準備が始まるよ。12月下旬ころから約2カ月間かけて苗を育てるよ。そして、2月20日ころに苗を植える。その後、大切に育てて5月上旬から7月中旬ころに収穫をするよ。ちなみに、ハウスで育てたトマトの旬は5月中旬なんだって！

ところで、トマトってどのように育てているのかな？それは、ハウスの中を見ればわかるよ！



ハウスの中

1株

こんなに大きくなるの?!



トマトは成長するとなんと2mにもなるよ！ここでは、つるをのび放題にすることで、太陽の光がよく当たり、おいしいトマトが育つんだ。

赤丸でかこんだものがトマトの1株だ。だいたい1株から20~30個のトマトが収穫できるよ。なんと、野崎さんのハウスには、6200株のトマトがあるんだって！すごい数だね！

収穫するタイミングは気温と色！

トマトを収穫するときには気温と色に注目するよ。例えば、5月に収穫するとき、5月は6月や7月に比べて涼しい日も多いよね。そんなときは、8割くらい赤くてやや青いトマトを収穫するんだ。一方で、6月下旬など、暖かい日に収穫するときには、半分赤く、半分青いトマトを収穫する。気温が高くなると、トマトの色は1日で変わってしまうから、やや青いうち収穫するんだ。出荷されてお店に並び、みんなが食べるころには、赤くなっておいしいトマトを食べることができるよ。

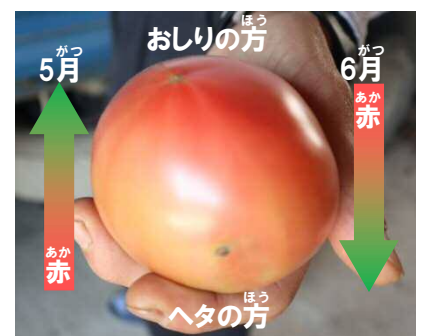


へたの方はまだまだ青いな

トマトのふ・し・ぎ ??

トマトの色の変わり方についてクイズだ！トマトは青（緑）から急に全体が赤くなるわけではないよ。では、トマトはヘタの方から赤くなると思う？それともおしりの方から赤くなると思う？

実は、時期によってトマトの色の変わり方はかわってくるよ。5月ころのトマトはヘタの方からおしりの方にかけて赤くなるよ。これは、トマトがじっくり熟している証拠だ！6月ころになると、トマトはおしりの方からヘタの方にかけて赤くなるよ。今度トマトを見かけたら観察してみよう！



へたの方